

耐震診断結果の報告を受けた建築物【要緊急安全確認大規模建築物】

【学校】

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	玉野市立 玉原小学校	教室棟 1号棟	玉野市 玉原2丁目 1092番2	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震 診断基準」に定める「第2次診断法」 (2001年版)	$I_s/I_{so}=1.36$ $C_{TU} \cdot S_D=0.58$	—	—	耐震改修済 G=1.1
		渡り廊下棟 16号棟 17号棟			一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震 診断基準」に定める「第2次診断法」 (2001年版)	$I_s/I_{so}=1.21$ $C_{TU} \cdot S_D=0.49$	—	—	耐震改修済 G=1.1
		教室棟 18号棟			一般財団法人日本建築防災協会による 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震 診断基準」に定める「第2次診断法」 (2001年版)	$I_s/I_{so}=1.42$ $C_{TU} \cdot S_D=0.87$	—	—	耐震改修済 G=1.1

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	I	II	III
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$

I. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

II. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。

III. 大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

(※) 震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
 いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

(※) 耐震診断結果の備考欄に特記が無い限り、Z (地域指標) =0.9、G (地盤指標) =1.0、

U (用途指標) =1.0